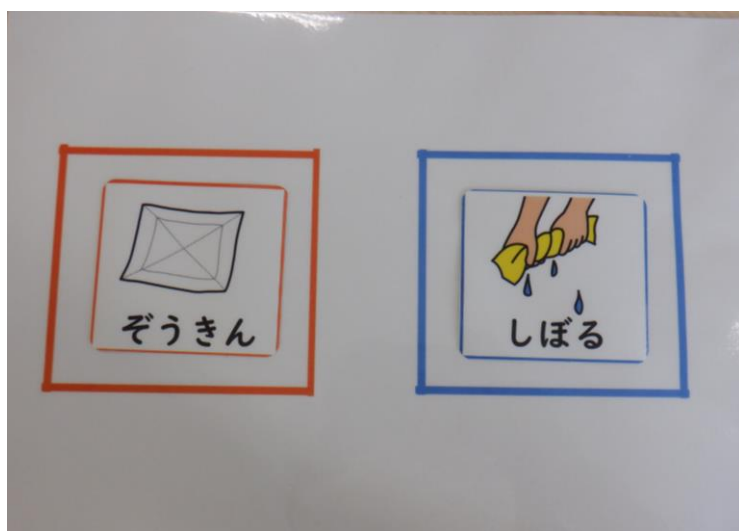




教材名	二語文をつくろう	使用学部	中学部
		使用授業	国語

教材の使用方法

明瞭な発語はありませんが、ジェスチャーや指さしでのコミュニケーションが可能な生徒に使用しています。対象生徒には、タブレット端末の意思表示ツールを用いてコミュニケーションができるようになるという目標があります。それに向け、まずはカードによって要求や意思が伝わる喜びや良さを実感させることが必要であると考え、その土台作りのためにこのような教材を作成しました。

〈使用方法〉

- ①まずは名詞、動詞それぞれのカードの意味を理解するために、口頭で言われた単語に当てはまるカードを教師に渡す活動に取り組みました。
- ②カードの意味を理解できた段階で、名詞と動詞の適切な組み合わせをつくる学習をします。教師がオレンジの枠に名詞カードを置き、それに適した動詞カードを生徒が選び、水色の枠内に置きます。それぞれの名詞と動詞の組み合わせは1つだけでなく、例えば「ボール」のカードには「投げる」「蹴る」などのいくつかの動詞の選択肢があります。
「好き」「きれい」「ほしい」などの意思や要求に関する言葉も含めています。